

適性検査Ⅰ 出題のねらい（平成28年2月3日実施）

問1 神奈川県各地域の主な地形や名所と農産物や水産物を題材に、地図を読み取り、各地域の特色を考えることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 地図から、各地域の特色を読み取り、4つの地域の説明としてふさわしいものを選択する。
- (2) 地図から、三浦半島地域の特色を読み取り、適切に文章で表現する。

問2 折り紙を題材に、紙を折ることによる形状の変化や、色のついている部分の面積を考えることを通して、主に科学・論理的思考力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 『オルガン』の折り方の資料から、『オルガン』が完成したときの指定した点に、図のどの点が集まるか、記号で答える。
- (2) 『オルガン』が完成した状態のときの、色のついている部分の面積を求める。

問3 神奈川県の花であるヤマユリを題材に、2つの資料を関連づけて読み取ったり、グラフに表現したりすることを通して、主に科学・論理的思考力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) ユリ根の輸出に関する2つの資料から、情報を関連づけて読み取り、横浜港の輸出額を求める。
- (2) 資料から、必要な部分の百分率を条件に従い概数で求め、円グラフに表現する。

問4 「おおきなかぶ」という民話を題材に、かぶの体積を求めることや、かぶの分け方を考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 実験の結果から、かぶの体積を求める。
- (2) かぶを分けるときの条件を読み取り、ねこがもらえるかぶの割合を求める。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（平成28年2月3日実施）

問1 仮想水を題材に、資料と会話文等の内容を読み取り、設問に即した文章をまとめることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と表から、必要な情報を読み取り、昼食で消費した仮想水の量を求める。
- (2) 資料から、筆者が伝えたかったことを書き、そのこととグラフを踏まえて、日々の食生活の中でどのようにするのが望ましいと思うか、自分の考えをまとめ、適切に文章で表現する。

問2 立方体を題材に、立体的なものの見方について考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 図から、立方体を回転させる動きについて理解し、指定された部分に書かれている数字の合計を求める。
- (2) 図から、それぞれの立方体の面どうしが接しているのは全部で何か所か求める。

問3 ゆでる調理を題材に、資料と会話文から、ほうれんそうのゆで方やゆでるときの注意を読み取ることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料と会話文から、生のほうれんそうとゆでたほうれんそうの違いを読み取り、会話文の空欄にあてはまるものを選択する。
- (2) 資料と会話文から、ほうれんそうのゆで方について読み取り、お湯の量が違うとゆであがりに違いがあることについて、その理由を述べた文の空欄に適する語句を指定の字数で書く。

問4 食塩水を題材に、実験結果を考察したり、結果を予想してグラフで表現したりすることを通して、主に科学・論理的思考力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文から、実験の内容を理解し、その実験結果から何が分かるかを考え、あてはまるものを選択する。
- (2) 実験の条件を変えたときの結果を予想し、グラフに表現する。

グループ活動による検査 出題のねらい（平成28年2月3日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いや作業を行い、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力と中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識をみることをねらいとした。

課題1 県立中等教育学校の図書委員会で行う「すべての学年において図書室をより多くの人に利用してもらう取り組み」のための準備の場面を設定する。この取り組みについて、中等教育学校の6年間で、「図書室をどのように利用していきたいか」と、1年生の図書委員として、「図書室をより多くの人に利用してもらうために、どのようにすればよいか」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくり、1年生に対して体育館のステージで行う「図書室の利用を呼びかける発表」についての準備をする。

課題2 県立中等教育学校の図書委員会で行う「すべての学年において図書室をより多くの人に利用してもらう取り組み」のための準備の場面を設定する。この取り組みについて、中等教育学校の6年間で、「図書室をどのように利用していきたいか」と、1年生の図書委員として、「図書室をより多くの人に利用してもらうために、どのようにすればよいか」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくり、1年生の各教室を訪問して行う「図書室の利用を呼びかける発表」についての準備をする。

〈参考〉

受検者を男女別に8人程度のグループに分け、相模原中等教育学校、平塚中等教育学校ともに3回の検査を実施した。

検 査	検査時間	検査課題
第1回検査	12:40～13:20	課題1
第2回検査	13:55～14:35	課題1
第3回検査	15:05～15:45	課題2